



うた

# 10月の詩

はしる

まえあしで ちきゅうをつかみ  
 あとあしで ちきゅうをける  
 まえあしで ちきゅうをつかみ  
 あとあしで ちきゅうをける  
 もつともつともつともつ  
 まえあしで ちきゅうをつかみ  
 あとあしで ちきゅうをける  
 いま ぼくは ちきゅうをける  
 かせになる

こいぬけんきち

くどうなわこ  
工藤直子

『はらった』より



## この本 あいます!

リクエストしてくれた本  
 の中に、図書室にある本  
 もありました。下の7冊は  
 図書室にありますので、  
 ぜひ借りてくださいね。

- ・『ねむるねこざかな』
- ・『ゆけ!ウチロボ!』
- ・『かいけつゾロリ まもるぜ!きょうりゅうのたまご』
- ・『ルルとララのおしゃれクッキー』
- ・『ルルとララの Cotton のマカロン』
- ・『泣いちゃうそうだよ』
- ・『さかなのかたち』



# 今日もたべた?本ごはん

めざせ目標冊数!

とうごうしょうがっこう とうしょかん へいせい ねん がっこう  
 東郷小学校 図書館だより 平成27年 10月号



あめ あき ふか

# ひと雨ごとに秋が深まり...

あさゆう ひ こ きぎ は いろ 秋の深まりを知らせています。

あき よなが こころしず べんきょう ほん よ じかん 秋の夜長は、心静かに勉強したり、本を読んだりするのにぴったりな時間です。

まいつき にち おやこどくしょ ひ どくしょ あき こんげつ 毎月15日は“親子読書の日”です。読書の秋。今月はいつもよりゆったりした気

もちで、テレビを消して、家族そろって読書をするのもいいですね。

がつむいか がつむいか こうないどくしょげっかん ことし 10月6日から11月6日までは、“校内読書月間”です。今年もブックリス

トを配布します。読んだ本には好きな色でりんごを1つぬりましょう。そのなか

き い ほん はりんごを2つ、とてもき い ほん はりんごを3つぬってくださ

い。ブックリストの本を5冊読み終わった人から順に、ひとり1枚しおりをプレ

ゼントします。楽しみにしててくださいね!

## お知らせ

O10月の図書室お休みの日: 毎週火曜日と1・19・30日  
 ※22日は研修会のため、午前中のみです(昼休みはあいていません)。

★本の貸し出し...毎日2さつ

★今月のスペシャルデーは9日!4さつ借りられます★

★10/6(火)は移動図書の日です★



10月 こんげつ 今月のいいね!  
やさしい気持ちになれる本

2学期が始まって1ヶ月が過ぎました。

みなさん、疲れていませんか？

毎日運動会の練習に、陸上記録会の練習…地域の行事も多いかもしれませんね。

イベントがもりだくさんで、疲れが出やすい時期です。

疲れていると、ついつい乱暴な言葉づかいになったり、いじわるな態度をとってしまったり…。

そんなときは、やさしい気持ちになれる本を読んで、心にたっぷり栄養をあげてくださいね！



『どうぞのいす』

香山美子 作/柿本幸造 絵/ひさかたチャイルド

うさぎさんが小さいいすをつくって、のはらの木のきの下におきました。そのそばに「どうぞのいす」とかいた、たてふだも立てました。ある日、ろばさんがどんぐりの入ったかごをおいておひるねをしているうちに……。「どうぞ」にこめられたやさしさがつたわってくるロングセラー絵本☆

『メガネをかけたら』

くすのきしげのり 作/たるいしまこ 絵/小学館

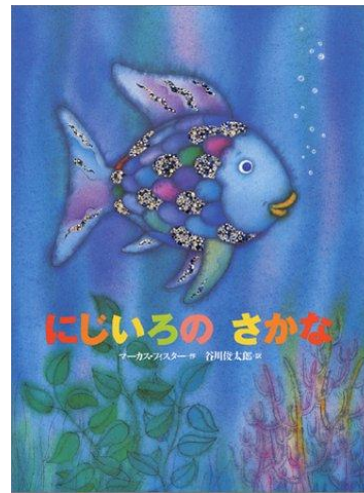
メガネをかけなくちゃいけなくなった。そんなのぜったいにいや！だって、だれもかけてないもの。きっと、みんなに笑われるもの…。

はじめてメガネをかける子どもの不安をえがく、心があったかくなるおはなし。

『りんごがひとつ』

ふくだすぐる 作・絵/岩崎書店

りんごがひとつ落ちていた。みんなおなかをすかせているよ。さるがたったひとつのりんごをもっていくと、みんな、さるを追いかけた。とうとうがけの上までつめよって…。最後にりんごを手にするのは……だれ！？



『にじいろのさかな』

マーカス・フィスター 作/谷川俊太郎 訳/講談社

にじいろにかがやくうろこをもった、世界で一番美しい魚がいた。でも、ひとりぼっちだった。ぼくはこんなにきれいなのに、どうしてだれも好きになってくれないの？ある日、かしこいタコのおばあさんに相談に行くことに…。



『ずーとずっとだいすきだよ』

ハンス・ウェルヘルム 絵・文/久山太一 訳/評論社

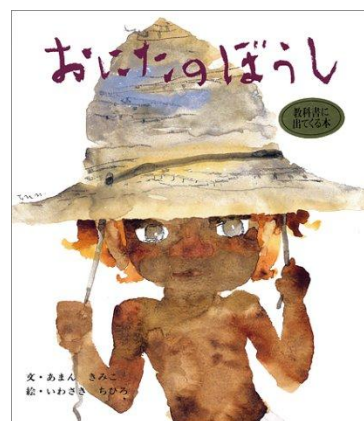
エルフィーとぼくは、いっしょに大きくなった。年月がたって、ぼくの背がのびる一方で、愛するエルフィーはふとって動作もにぶくなっていった。ある朝、自がさめると、エルフィーが死んでいた。深い悲しみにくれないながらも、ぼくには、ひとつ、なぐさめがあった。それは……。



『花さき山』

斎藤隆介 作/滝平二郎 絵/岩崎書店

山菜をとりいき、やまんばに出会ったあや。やまんばはあやに、人のことを思うやさしい気持ちやせつない気持ちが、花さき山に花を咲かせるのだと語りかけるのでした…。黒と花の色彩が印象的な名作絵本！



『おにたのぼうし』

あまんきみこ 文/いわさきひろみ 絵/ポプラ社

物置小屋のてんじょうに、おにたという名前なまえの小さなくろおにの子どもがすんでいました。節分の夜、角かくしのむぎわらぼうしをかぶって、おにたは物置小屋を出ていきました。そして、おにたは病気のお母さんを看病する女の子に出会います……。

